

《マッドマックス》のスピードと迫力が炸裂！

核の恐怖の真只中に激突する
壮絶なカーアクションとサスペンス！

THE CHAIN REACTION

チェンリアクション

スチーブ・ビズレー
アーナ・マリア・ウィンチェスター
ロス・トンプソン
ラルフ・コッテリル
ヒュー・キース・バーン

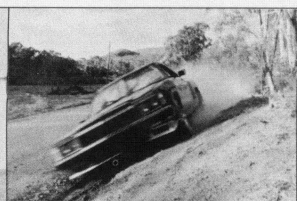


脚本/監督 ● イアン・バリー
製作 ● デビッド・エルフィック
共同製作 ● ジョージ・ミラー
● ロス・マシューズ

ワーナー・ブラザーズ映画配給
DISTRIBUTED BY WARNER BROS. A WARNER COMMUNICATIONS COMPANY



チェンリアクション



それはマグニチュード5.6の激震で始まった!

オーストラリア中西部一帯を、ある日マグニチュード5.6の地震が襲って、核廃棄物処理公団工場のパイプから放射能に汚染された廃液があふれ出た。

ほどなく漏出はおさえられたが、処置にあたった一人の若い科学者が、放射能を全身に浴びて、あと三日の生命を宣言される。

公団側は事故発生を内密にしようとするが、あふれ出た汚水の一部は、すでに地下水に流入している、確実に放射能は外部へひろがり始めているのだ。

そのことの危機を、自分の命の短さよりも憂慮した被害の科学者は、みずから生き証人としてオーストラリア全土に訴えかけようと病棟を脱出。峡谷へ逃げこんで、たまたま山小屋に週末旅行を楽しみにきていた夫婦に救われる。もちろん公団側も事実を闇から闇へ葬り去ろうと、冷酷な殺し屋集団に、科学者と彼に関わった人間の抹殺を命じ、行動を開始した...

THE CHAIN REACTION

面白さで勝負だ! 『マッドマックス』を超えるサスペンスが猛烈カーアクションに激突

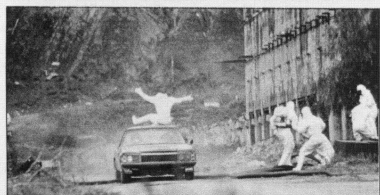
こうしてスピーディーにサスペンスの幕を切って落とすこの映画は、公団側を巨大な悪と見立て、汚染の被害者をかくまったことからその悪に独力で対決する破目に追いこまれた一人の男の不死身の活躍を描く超娯楽アクションなのだ。

主人公の職業がスピードレース・ドライバーになっているのもそのためで、脱走した科学者を一刻も早くなき者にしようとして、公団から派遣された保安チームを敵にまわし、彼は得意のハンドルさばきでカー・チェイスにつぐカー・チェイスを展開する。

オーストラリア映画といえば大ヒット作「マッドマックス」で今までどこの国にも試みられなかったカー・チェイス・アクションの新手を続出させ、サスペンスのボルテージを極限まで高めてみせた実績を持つが、今回の「チェーン・リアクション」も放射能の恐怖とカー・チェイスのスリルを巧みにミックスさせ、題名通りサスペンスの連鎖反応で、見る者をただならぬ興奮のルツボにひきずりこんでしまう。

主役を演じるスティーブ・ビズレーは、実生活でもレーシングカーの運転にかけてはプロ級の腕の持主である。

この凄絶アクション!



迫力満点のオリジナル高性能車!

主人公が運転するスーパートラックは、高名なミルトン・レスライトのデザインにより二五〇〇ドルをかけてこの映画のために製作された。そのボディ・スタイルといい性能といい、ほればれするようなカッコよさで、「マッドマックス」のインター・セプターにはなかったパワフルな魅力が加えられている。また、みずから脚本も書いた監督のイアン・バリーは、「マッドマックス」の脚本・演出で名を上げ今回は協同製作にまわっているジョージ・ミラーの期待に応え、アクション・シーンの切れ味のよさ、ダイナミックな迫力、ともに第一級の腕前をみせている。

▶「マッドマックス」で暴走族のリーダーを演じたヒュー・キース・バーン

▲マックスの相棒警官を演じていたスティーブ・ビズレーが今回の主役だ

10月25日ロードショー

特別鑑賞券 ¥1100 (当座 ¥1400 学生 ¥1200) 発売中!

上映時間 5館共通

連日 12:00 1:50 3:40 5:30 7:20

丸の内東映パラス (535) 4740

池袋東急 (971) 2727

渋谷東急レックス (407) 7019

新宿東映パラス (351) 3061

新宿東急 (200) 1981

●有楽町フードセンター前

●東口バルコ先左側

●東急文化会館B1

●伊勢丹斜め前

●歌舞伎町 コマ劇場前